



旭工業株式会社

TEL.03-3893-3029 FAX.03-3810-2393
 URL <https://www.a-ratek.com/>



橋本 明秀
代表取締役

代表者：代表取締役 橋本 明秀
 所在地：〒116-0011 荒川区西尾久7-58-5
 資本金：1,000万円
 従業員：65人
 創業年：昭和2年
 業種：金属加工業
 事業内容：ステンレス精密板金

幅広い事業でシビアな品質要求に応える

昭和2年、「橋本工業所」として創業してから、90年程の社歴を刻む。当初は油圧プレス機的设计や絞り加工を手がけ、日本初の自動車用フェンダープレス絞りを完成して名を上げた。戦後間もなく現在の「旭工業」に衣替えして以来、精密板金加工・パイプ加工・プレス加工・組立・型加工など領域を広げて事業拡大を推進し続けている。特にステンレスの板金・溶接加工が得意で、精密板金加工・表面処理を一括受注して低コスト化を実現する。

ユーザーは、医療機器、半導体関連装置、液晶露光装置、印刷機器、環境機器、制御盤などを扱う品質要求がシビアな先端産業が主体である。

工場は「本社工場」のほか、岩手県花巻市に「花巻工場」、埼玉県上尾市に「上尾工場」を持ち、各工場をwebでネットワーク化し、トータル的な生産管理を行うシステムを確立している。

筋肉質な会社を目指す

経営革新を進める3代目社長で、若手経営者や後継者によるあすめし会（明日の飯の種を作る会の意）メンバーでもある橋本明秀氏は、景気の変動が大きくても利益を出し続けられる「筋肉質な会社」への転換を図っている。そのために、ムダを省き事業をスリム化するのは当然として、顧客の更なる獲得により安定した収益を獲得することを目指している。現在、抱える顧客は約40社程度であるが、今後は100社を目指して、強みである営業力を武器に、社長自ら新規顧客開拓を進めていく。

RATEK

●商品概要と特徴

歩行補助具のコンセプトから、車軸、ブレーキ機構、杖丈調整機構を自社開発し生産性、耐久性、安全性、利便性を高めた商品である。

●開発の経緯

同社は、MACC製品として認定されている「フェレット」の製造を板垣製作所から受け継いだが、生産性、耐久性、安全性、利便性の面で量産に向かなかった。そこで、上記課題をクリアする商品として新規開発を行った。今年度から積極的に展示会等に出店し、上期30台程度の販売実績がある。新規開発部分は、接地面に対して傾斜を設けた車軸構造（ハの字）とスイング機構で走破性を高めた。また、利用者の身長に合わせた杖丈の調整機構で利便性を高めている。さらに、後輪ブレーキ機構を再設計（特許出願済み）してより安全な商品となっている。他に、絵柄をプリントすることで顧客ニーズに広く答えることができる商品ラインアップを実現している。生産は海外での生産体制を確立し、より安価な提供価格を実現した。



攻めの提案型営業



当社は営業力を武器に成長を続けている。今の時代、顧客からの技術情報をそのまま製品化するだけでは商売にならない。当社は保有する固有技術やITを活用した業務管理に裏打ちされた、攻めの提案型営業で差別化を図っている。企業の成長に欠かせない新規顧客を獲得する際にも、社長自ら見込み客のもとへ出向き、当社の特徴を踏まえた“印象に残るプレゼンテーション”を行うことで信頼を獲得し、実受注につなげている。

また、200社を超す協力企業のネットワークを活用して、金属加工に関わる仕事であれば連携して依頼を成し遂げる体制を築いていることも強みである。